

お客様のニーズを先取りし、トータル的にマネジメントすることでパフォーマンスの高いご提案をしております



株式会社つうけんアクト 北本 政美(きたもと まさみ)社長

<2016年6月1日 賛助会員入会>

【会社概要】

- ・所在地—札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2丁目3番1号
- ・設立—1994年5月30日
- ・資本金—5,000万円
- ・売上高—91億6,704万円(2020年3月期)
- ・従業員数—217名(2020年3月期)
- ・株 主—株式会社つうけん(100%出資)

【事業内容】

1. 総合リース業—自動車、工事中用車両、情報機器および機械設備等のリースおよび販売
2. 総合レンタル業—建設工事仮設ハウス等、情報通信機器、什器備品および各イベント用品のレンタルおよび販売
3. 保険代理店—自動車保険、自賠責保険、火災保険、ゴルフ保険、新種保険および生命保険等
4. 警備業—交通誘導警備業、雑踏警備業および施設警備業
5. 人材派遣業—労働者派遣事業および有料職業紹介事業
6. 建設業—特定建設業許可:北海道知事許可(特-1) 石第19787号 一級建築士事務所登録:北海道知事登録 石第6562号

今回の会員企業トップインタビューは、総合リース業をはじめ総合レンタル業、保険代理店業務等を通じてお客様のニーズを先取りし、トータル的にマネジメントすることでパフォーマンスの高いご提案をされている株式会社つうけんアクト 北本 政美 社長に伺いました。同社は、北海道における情報通信建設業界のリーディングカンパニーである(株)つうけんの100%子会社として創業以来、「こころと技術で社会のために」をグループのコーポレートスローガンとし、高度情報社会の「快適な環境づくり」の提案を通じて社会に貢献しています。

Q. 貴社の沿革をお聞かせください

A. 弊社は、(株)つうけんのグループ会社で1994年にオートリースの事業化を目的に「つうけんオートリース(株)」として設立しました。その後、2002年にレンタル事業を生業とするつうけん商事(株)と合併して、現在の「(株)つうけんアクト」へ社名変更する一方、事業拡大に向けて2014年に(株)つうけんセピアと合併し、警備事業ならびに人材派遣業を開始、2019年には一級建築士事務所登録を行った結果、現在の取り扱い事業となりました。

Q. つうけんグループおよび貴社の経営方針についてお聞かせください。

A. (株)つうけんグループは、10社で構成されています。グループのコーポレートスローガンは、「こころと技術で社会のために」というもので、高度情報社会の「快適な環境づくり」の提案を通じて社会に貢献していくことを目指しています。

グループ各社の持つ建設ノウハウとそこで働く私たちの変わらぬ使命感とチャレンジ精神を融合させ、時代を担う情報通信及び社会基盤インフラ建設に挑戦し続けています。その中で弊社はリース・レンタル・イベント・保険・燃料・警備・人材派遣そして建築を営み、グループ全体をバックアップできる会社を目指しています。

Q. 貴社の中核事業はリース事業でしょうか。収入全体の割合をお聞かせください。

A. 売上ベースでいくと、リース・レンタル・イベント業関連で4割強、警備業で4割、派遣業で1割強となっています。当分、この割合は継続していくと思います。

Q. 貴社の社風、社員気質などお聞かせください。

A. 沿革でも紹介したとおり、合併を繰り返してきた会社なので社風というものを明確に申し上げにくいのですが、保守的な考えの社員が多く、過去からの業務の流れを継続していて、若干変革を受け入れにくい面があるように感じており、この打破に向けて、若手社員が変革のリーダーになってくれることを期待しています。

Q. 貴社の地域貢献、CSRの取り組みについてお聞かせください。

A. 企業単独でのCSR活動は実施していませんが、キワニスクラブに所属して、児童虐待防止活動としてオレン



高所作業車

ジリボン街頭啓発活動への参加や、闘病中の子供たちに贈るキワニストール作成などを行っています。また、家用自動車協会で取り組んでいる交通安全活動で街頭啓発にも参加しています。

Q. 貴社社員の採用、人材育成方針をお聞かせください。

A. 毎年、新卒と就業経験者を合わせて4~5名採用しています。定年は62歳ですが希望者は65歳まで働くことができます。さらに、働く意欲がある方は70歳まで働いて頂いています。人材育成方針と言うほど大袈裟なものではありませんが、若い人達には色々な現場を経験して将来に備えていただきたいと考えており、成長の機会として各種階層別研修に力を入れています。

Q. 働き方改革が話題となっています。貴社の取り組みをお知らせください。

A. 働き方改革については、労働時間管理と休暇取得促進をセットにして取り組んでいます。時間外労働は数年前から見ると大幅に減少していますが、まだまだ個人毎の偏りが大きいですね。業務の省力化と平準化が課題であると考えています。働き方改革、人手不足対策に繋がる事になりますが、これまで事務処理は時間と人手を掛けてやってきましたが、現在、システム構築と機械化に取り組んでいます。まだ時間は掛かると思いますが構想では事務処理作業が半分になると思います。

女性社員イコール事務処理という考えも打破したいですね。営業現場やイベント現場でも女性目線が必要になってきています。営業力や企画力等のスキルも必要となってきますが、これからは感性面で優れた女性の役職者を多くしていきたいと思っています。

Q. 少子高齢化により人手が不足していると言われていましたが、新型コロナウイルス感染症によりその状況は、一変したように感じられます。貴社における要員対策をお聞かせください。

A. 今のところ人手不足というは有りません。また、幸いなことに新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を縮小するという状況は免れていますので、今後の事業拡大に備え毎年4~5名の増員を計画しています。新卒採用市場は新型コロナウイルス感染症の影響により近年続いてきた売り手市場に陰りが見えはじめ、採用見込み数が各社減少傾向に転ずると言われておりますので、弊社においては募集人員の確保という面では追い風となっています。また、派遣事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣社員の募集を掛けると多くの方から応募があります。

Q. 貴社は複数の事業を展開していますが、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、今後の取り組みや課題についてお聞かせください。

A. 東京オリンピックで札幌開催予定のマラソン・競歩・サッカーが延期となり、これらの設備構築に携われなくなったこと。また、道内の各種イベントも軒並み中止・延期となっており、加えて燃料価格の低下、公共工事の遅れなど、事業への影響は非常に大きなものがあります。

これらの挽回策として、新型コロナウイルス感染症の影響が比較的軽微な事業(警備事業や派遣事業)において着実に収益を上げつつ、営業関連部門においてはそれぞれ地道な営業を一つ一つ積み上げることにより業績回復に取り組んでいます。

Q. 北本社長様の入社のご経緯、特に印象に残る仕事・事柄をお聞かせください。

A. 2018年6月に社長に就任しました。入社前の出来事は多々ありますが、その中で最も印象に残っている事があります。1978年4月に入社して以来37年間、技術畑を歩んできましたが、当時の(株)つうけんの某社長から『総務人事部長を命ずる』と辞令をいただいた後に『総務人事部長の役職は不安だろ』と言われ『ハイ、不安です』と返事をしたところ、その某社長より『俺も不安だ』と言われたことです。着任後は初めて経験することばかりで、日々右往左往しながらの業務の連続でしたが、まさに暗中模索にもかかわらず大きな失敗もなく続けられたことは、周囲の助けがあったからこそ感謝しています。

Q. 北本社長様の今後の抱負をお聞かせください。

A. 2~3年後には売上高ベースで100億円を達成したいと考えています。安定した経営で社員の生活を守ることを大前提として、新たな事業に乗り出し、社を発展させていきたいと考えています。

本日は、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。



本社社屋